



世界自然遺産の島
屋久島

No.24

平成25年
12月

屋久島町 議会だより



シリーズ (学校紹介) ①金岳小・中学校 (P17へ続く)

- ◇第3回臨時会 P2~3
- ◇議長就任あいさつ P3
- ◇第3回定例会 P4~8
- ◇特別委員会最終報告 P7~8

- ◇全員協議会 P9
- ◇一般質問 P10~17
- ◇子ども議会 P14~15
- ◇シリーズ[学校紹介] P17

第3回臨時会

第3回臨時会 新たな議会構成決まる

10月1日、第3回臨時会が開催され、議長・副議長・常任委員会委員・議会運営委員会委員・特別委員会委員の選出が行なわれ、新たな議会構成が決定された。

また、契約案1件(防災行政無線設備工事請負変更契約)、平成24年度歳入歳出認定案1件、同意案1件(屋久島町監査委員の選任)、屋久島辺地総合整備変更計画案1件などが提案され、決算審査特別委員会に付託された認定案1件を除き、それぞれ原案どおり可決された。

議長



日高 好作

副議長



寺田 猛

総務文教常任委員会



委員長
山崎 利広



副委員長
石田尾 茂樹



委員
満園 明



委員
渡辺 博之



委員
真辺 万里



委員
日高 豊



委員
小脇 清保

産業厚生常任委員会



委員
寺田 猛



委員長
真辺 有次



副委員長
緒方 健太



委員
岩川 俊広



委員
下野 次雄



委員
岩川 修司



委員
永野 正義



委員
日高 忠見



委員
日高 好作

議会運営委員会

委員長 真辺 万里
副委員長 岩川 修司
委員 寺田 猛

議会選出監査委員

真辺 有次
山崎 利広
石田尾 茂樹
緒方 健太
日高 豊

決算審査特別委員会

委員長 渡辺 博之
副委員長 満園 明
委員 寺田 猛

真辺 有次
永野 正義
緒方 健太
日高 忠見
石田尾 茂樹

熊毛地区消防組合議員

日高 好作・山崎 利広

議会広報委員会

委員長 山崎 利広
副委員長 緒方 健太
委員 渡辺 博之
真辺 有次

◎報告

◇平成24年度決算に基づく屋久島町健全化判断比率の報告について

◇平成24年度決算に基づく屋久島町簡易水道事業特別会計ほか3特別会計に係る資金不足比率の報告について

◎変更計画

◇屋久島町辺地総合整備計画の変更について

[消防詰所の建て替えや道路整備が必要になったための計画変更]



建て替え予定の消防詰所(平内)

◎工事請負変更契約

◇屋久島町防災行政無線設備設置工事請負変更契約について

[南部地区の防災行政無線アナログ移動系の無線機器及び蓄電池を残す必要が生じたため、新設のデジタル無線機器設備設置場所の確保が困難となり、局舎を新設する経費等]

○変更後の工事請負額

3億5277万9千円(627万9千円の増)



局舎新設地(平内)

上記の他、平成24年度一般会計他、10件の特別会計歳入歳出決算認定案及び議会議員選出の監査委員の選任が提案され、決算審査特別委員会に付託された決算認定案11件を除き、全て原案のとおり可決、同意しました。

就任あいさつ

議長 日高好作

この度、屋久島町議会議長に就任いたしました日高好作です。

その任に就きまして、改めて責任の重大さを痛感いたしております。

定数を20名から4名減の16名とし、町民の皆様の審判を仰いだ今回の選挙は、候補者個々にとりまして、たいへん厳しいものがありました。

今回の選挙を通じ、議員それぞれが背負ってきた、町民の皆様の思いや願いこそが、正に町民の皆様の声であり、この声を町政に反映させていくことが私共の責務であります。

多様化する皆様の声を的確に把握し、選択しながらよりスピーディに対応していくことが議会に求められていると考えております。

新しい議会がこれまでと違うのは、議会自らが制定した議会基本条例の施行です。

「町民から信頼される議会を基本に、屋久島町町民として暮らす全ての人達の福祉が向上し、安全

で安心な生活ができる豊かな町づくりの実現に寄与すること」を目的としております。

その方法の一つとして、議会報告会等の開催を義務付け、町民の皆様との対話を重要視することになりました。

屋久島が世界自然遺産に登録されて20年になります。先人達が守ってきた屋久島の命でもあります「森との共生」をこれからも維持し、後世に繋いでいくことは申すまでもなく、私共に課せられた重要な使命であり、その維持のための手段として、入島税が議論されております。議会といたしましても今後議論を重ねて、議会としての考え方を明確にしていきたいと思っております。

また、新庁舎建設問題や一次産業の浮揚の問題、空港の整備の問題、今後も上昇する医療費と社会保障の充実との兼ね合い等、目前の課題も山積しております。

これらの課題を解決し、屋久島町の発展を図るため、議会は委員会活動を活発にさせるなど努力してまいります。何卒町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

定例会 8月28日～9月6日

◎条例改正

- ◇「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正 ⇒〔成年後見人の選挙権回復のための公職選挙法の一部改正に伴う改正〕
- ◇「火葬場条例」の一部改正 ⇒〔火葬場の名称及び墓地、埋葬等に関する法律に基づく管理者の設置について規定するための改正〕

◎一般会計補正予算

- ◇6月9日発生した豪雨で被災した農地、農業用施設、林業用施設及び道路橋梁施設、河川施設等の災害復旧に係る経費、1037万4千円の[※]専決処分を承認。

予算総額 **93億7384万6千円**

- ◇財政調整基金積立金、こまどり館修繕経費、不妊治療旅費の補助経費、鳥獣被害対策経費、町道舗装経費、公民館改修経費等を計上。財源として地方交付税、国県支出金などを充て、歳入歳出それぞれ2億1632万2千円を追加し、予算総額を**95億9016万8千円**とする。



豪雨により被災した林道(宮之浦)



改修が進む高平公民館

◎特別会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	備考
国民健康保険事業	1,200	2,222,101	保険税還付に係る経費他
介護保険事業	18,974	1,278,793	負担金等償還に係る経費他
診療所事業	4,189	196,931	酸素濃縮機リース料他
後期高齢者医療事業	1,200	138,724	後期高齢者医療広域連合給付金他

この他、物品購入契約案1件〔小中学校に配置する屋久島産材を使用した木製の机・椅子の購入⇒有限会社、道免家具店と735万円で契約〕と同意案4件〔固定資産評価委員会委員＝荒木弘義(宮之浦)・中馬義彦(志戸子)・緒方喜久(船行)・池上純久(尾之間)〕の選任が提案され、すべて原案のとおり可決、同意した。また、議会委員会条例の一部改正、道州制導入に断固反対する意見書(案)及び「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書(案)を発議し、すべて原案のとおり可決した。

◎請願・陳情の審議結果

- ◇「県道の中央線表示の見直しに関する陳情」については不採択とした。
- ◇「墓地公園陥没補修工事に関する陳情」、「屋久島森林鉄道復活利用についての陳情」、「ブロードバンド設置に関する陳情」は、審議未了となった。

※本来、議会で議決・決定すべき事項を特定の場合、町長が議会に代わって決定し実施すること。特定の場合とは、議会を開く時間がない時などで、これを行なった場合は、町長は次の議会で報告し承認を求めなければならない。

第3回

総括質疑

所属する委員会以外のことについて本会議で質疑を行なうものです。

- 問** 固定資産評価委員の同意について、4名全てが行政職OBで違和感を感じる。何か他に手立てを行った上で、この結果になったのか、また、今後、取り組む姿勢について意見を伺う。
- 答** この委員は、学識を有する者の内から議会の同意を得る必要があるため、評価について認識がある人をということで今回このようになった。今後は、議員が言われるようなことを頭において人選をやっていく。
- 問** 診療所事業特別会計の特別報奨金、特別旅費合わせて328万6千円ある。これは、石田先生の分だと思いが、後任はもう決まっているのか。
- 答** 今の先生は、来年2月末退職するため、後任について、

町・県のホームページ、ドクターバンク掲載のための起案をさせている。

意 退職後なるべく空白期間が生じないように、最善の努力をして後任の医師確保に務めていただきたい。

答 議会終了後、県の地域政策課に出向き、自治医科大卒の先生をさらに1人要望することになっている。

問 観光施設整備費の森林軌道橋梁整備負担金の内容は、

答 この登山ルートは、年間約10万人が利用する重要なルートであること。また、山岳部のし尿運搬やけが人の搬送にも利用している現状である。林野庁から橋梁修繕の相



修繕対象の太忠橋

談を受け、利用負担という観点から、県と町が4分の1、国が2分の1というところで700万円計上した。

問 この件は、地元行政として、管理者に積極的の押ししていく必要があったのではないか。

答 この件は、国と県がやるべきだと言ってきたが、今回、緊急的なこともあり、安全上の確保ができないための措置である。今後は国と県に責任を持つてやってもらおう。

常任委員会審査

付託された議案を質疑討論し採決まで行います。

総務常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案1件、予算案1件。

屋久島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

公職選挙法の一部改正による指定施設等における、不在者投票の外部立会人の報酬額を定めるための改正。

問 縄文の郷と徳洲会病院は期日前と取り扱いが異なるのか。

答 これらの施設で行われるのは不在者投票であり、期日前選挙の立会人は別に定める。

問 外部立会人は各施設1名か。

答 1名である。

一般会計補正予算(分割)

問 永田で発生した火災後、消防ホース格納庫の点検をしたが、一湊では4割のホースが劣化していた。補充のめどは立っているのか。

答 年次的に補充しているが、一湊と永田は拡充を検討したい。

問 消防ホースの補充時期はいつになるのか。

答 12月定例議会において予算計上したい。

問 海難事故が多発しているが、船の油代等の補助基準はどうなっているか。

答 今回報酬交付規則を定めた。

問 一湊地区生コンプラント撤去工事の建物面積はどれく



格納庫内のホースは万全か

らいか。また、工事に産廃手数料も含まれているか。

答 現地での測量は困難なため、正確には申し上げられないがプラントは2棟ある。産廃手数料は含まれている。

問 光ケーブルの電柱移設はどこで行われるのか。

答 ドラッグストアアモリ近くの造成工事に伴う移設である。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

経済建設委員会

本委員会に付託された案件は、予算案1件。

問 特産品加工施設など指定管理者制度の施設の修繕などはすべて町が負担するのか。

答 契約では、状況に応じてリスク分担をしている。今回の場合は、経年劣化のための修理で町の負担となる。

問 町営牧場の牛の補償金が計上されているが、牛の死因は何か。

答 食べたほし草が肺に入っ

問 鳥獣害防止策の要望ほどの程度か。

答 平成22年度行ったアンケート調査の要望では、総延長で60kmになっている。平成28年度から中山間整備事業を導入できないか、今検討している。

問 イベントの補助金が夏祭りの花火の運搬費ということだが、今後については、どう考えているか。

答 今回は「ご神山祭り」や「やくしま夏祭り」だけでなく、各集落の花火の運搬費



ご神山祭り

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

問 軌道ルート全体の維持管理について話をしなければならぬと思う。

答 協定か覚書は交わしているの

問 森林軌道橋梁整備負担について、今回限り4分の1負担となっているが、前回も今回限りという話があった。

も含まれている。昨年の危険物船舶輸送及び貯蔵規則の改正で、従来のような運搬がで

文教厚生常任委員会

本委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案5件。

火葬場条例の一部改正
火葬場の名称及び墓地、埋葬等に関する法律に基づく管理者の設置について規定するための所要の改正。

問 斎場の収入はどうに処理しているか。

答 火葬場の使用料で処理している。

問 埋葬は土葬のことか。日本に今土葬があるのか。現在に合った法律なのか。

答 今はほとんど火葬してから納骨堂に納めており、それを埋葬、または埋蔵としている。昭和23年に法律ができた時から埋葬となっている。また、災害があった時など、数が多い時には土葬する事例もある。

一般会計補正予算(分割)
問 宮浦小学校の浄化槽補修は、単独浄化槽でいいのか。

答 安房中学校も単独浄化槽だが、今年度改装工事をしており、これが800万円かかる。県にも指摘を受け、宮浦

小学校も合併浄化槽に代える必要があるが、今回の補修は取り急ぎ、今の漏水を修繕するもので、早ければ来年度以降には合併浄化槽に切り換える予定である。



合併処理浄化槽への切り替えは(安房中学校)

あるので、そこを少しでも抑えれば。
問 安心子供基金総合対策事業とは。

答 保育園の先生方の処遇改善のための事業で、時間外での業務など、園が払えない部分に対し、国が基金から支出する制度である。

国民健康保険事業特別会計補正予算
問 償還金及び還付加算金の100万円の内容は。

答 従来収納した部分で、社会保険に加入していたり、重複して支払っていた人にさかのぼって還付する財源である。

介護保険事業特別会計補正予算
問 財源組み換えの理由は。

答 県から借りる予定で見込んでいたが、基金で充当できることとなったため。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

特別委員会最終報告

交通対策調査特別委員会

交通対策調査特別委員会

は、平成21年第4回定例会において、委員8名をもって設置され、本町の交通対策に関する事項のうち、県管理の宮之浦港、安房港の整備促進と高速船運航に関する諸問題の解決について、屋久島空港の整備と航空路線の開設について、県道の危険箇所改良等について、調査を行ってきた。

この結果、御前崎の県道通学路の危険箇所については、県及び所有者に改善を求め解決を得ることができた。

安房港の雨天対策設備の設



改善された御前崎の県道通学路(尾之間)

置、高速船の町民割引の助成など、懸案事項の解決に取り組んできた。

屋久島への入り込み客数の実態を把握するため、船会社や航空会社の窓口等で役員職員の協力も得ながら調査を実施し、交通機関利用者の80%が町外者という実態も把握した。

さらに、調査の過程で、JAC、鹿児島商船、コスモライン、折田汽船など、関係する交通会社や県港湾空港課を訪問した。

JACでは、福岡・屋久島間及び大坂・屋久島間の利用状況の調査や鹿児島・屋久島間の運賃引き下げ等の要請を行い、鹿児島商船、コスモラインでは、高速船新会社設立にあつての業務内容の調査を行い、運行ダイヤ及び運賃の現状維持を強く要請した。

県の港湾空港課では、宮之浦港及び安房港の整備状況を調査し、港内の静音度を高めるための防波堤の整備促進や

大型船接岸可能な泊地の設置を要請した。

屋久島空港ターミナルビルの改修については、本委員会の最大の調査検討事項であるが、施設が民間所有であり、迅速な改修のめどが立っていないことから、株主でもある県の強い指導を要請した。

平成24年4月に開業した種子屋久高速船株式会社に対しては、統合によるサービスへの影響について調査したところ、廃止となるダイヤが生じたことや、種子島と屋久島では島民割引に差が生じていることが判明した。

従来の便数及び特に屋久島発直行便の確保、運賃の現状維持、島民割引料率など、島民生活に悪影響が出ないよう強く要請した。また、宮之浦港のターミナルビルの利用にについても、島民や観光客が快適に利用できるよう要請した。

また、本年8月には、羽田・屋久島間直行便の開設の可能性を調査するため、近畿日本ツーリスト鹿児島支店、鹿児島県を訪問し、国内観光の動向や首都圏からの屋久島への

入り込み状況などの把握に努めた。

以上、交通対策については、島民生活や観光振興に密接に関係する重要な部門であることから、問題点も多く、施設等の改善も強く望まれているが、地元が一体となった要請でないと、施設整備及びサービスの向上はなかなか進まない現状にあるので、議会としては町民の要望等の的確な把握に努め、時期を逸しない調査研究と関係機関との連携を構築していくことが問題解決につながるということを本特別委員会の調査として最終報告とする。

縄文杉ルート利用調整に係る諸問題調査特別委員会

当委員会は、平成20年4月1日、エコツーリズム推進法が施行され、これに伴い屋久島エコツーリズム推進協議会が屋久島エコツーリズム推進全体構想案を示したことに伴い、幾つかの問題点が惹起し、これを調査するため、平成22年3回臨時会において設置された。



更なる環境対策が望まれる大杉歩道

議長を省く全議員が委員となり、これまで他団体との意見交換や現地調査を含め10数回に渡り調査活動を行った。中でも、エコツーリズム全体構想の素案に係る屋久島町自然観光資源の利用及び保全に関する条例が提案され、利用調整の部分において人数制限ありきの本条例案に対し、観光関連事業を営む各種団体や議会内部からも、地元住民のコンセンサスが十分得られていないことや、ルールづくりの不備などが指摘され、条例制定については時期尚早であるとの見解から、特別委員会、本会議ともに全会一致で否決となったところである。

自然環境の保全に関する事項については、異論を唱えるものではなく、屋久島の貴重

な自然資源の保護、保全に努めていくことについては、全委員の共通認識である。

現地調査においては、縄文杉登山道を含め、周回ルート
の現状とその改善策、し尿処理に関するトイレの現状、状況、歩道整備のあり方など、数回となく現地に足を踏み入れ踏査を行った。

エコツーリズム推進協議会、屋久島観光協会ガイド部会、国会議員による世界遺産議員連盟、屋久島を考える会等との意見交換も行い、情報収集と意見集約に努めました。

最近の動向としては、町当局からの方向性が具体的に示されていないため、具体的に取り組みには至っておりませんが、有人山小屋の設置に関する要望や縄文杉大枝の腐食によるデッキの一部立ち入り制限と、これに伴う中・長期的な対策、レモンガス鹿児島からの寄附を財源とした高塚小屋の建てかえなど、新たな動きも出てきており、これらの動向を注視しながら、今後の活動につなげていかなければ

ならないものと考えています。

委員会としては二度にわたり利用調整に係る条例案を否決していることから、行政当局に対し現在検討されておりますガイド登録認定制度の再構築を含め、全体構想素案の早期見直しを要請するとともに、解決しなければならぬ多くの課題に対し、その打開策を見出すべく、今後も引き続き関係機関、団体等との意見交換や情報収集等を行い、世界自然遺産屋久島の環境保全に努めながら、今や屋久島の主産業とも言える観光関連事業の衰退につながらないよう、引き続き調査活動を進めていく必要があるということを確認し、申し送ります。

本庁舎移転に関する調査特別委員会

昨年、4月26日発足してから当委員会は、町長が提案した旧小瀬田中学校校舎と、その敷地を本庁舎とすることに
ついて集中的に審査してきました。その内容と結果については、昨年の9月議会において、中間報告として報告したところだ。

報告は、この問題の特殊性に鑑み、一つの結論を出すという形ではなく、委員会での委員それぞれの意見を3つに集約する提案型、参考型でまとめた。この報告を一つの参考にして町長が旧小瀬田中学校校舎とその敷地に本庁舎を移転することを断念されたことは議会も承知のところである。

委員会の調査事項は、道半ばであるが、残された委員会の任期では時間的に到底無理であると判断した。

問題の重要性から新しい議会においても委員会を設置して調査研究を継続することを要望する。

屋久島における電気供給状況についての調査特別委員会

本委員会は「電気は住民生活に欠くことのできない最も重要なものであり、安定した供給と価格が常に求められている。このことから、島内における電気供給を安定したものとするため、また、全地域において同一の料金に統一するにはどのような対策が必要



なのかなど、議会においてもその具体的な方策について調査検討すべきではないか」との趣旨で平成23年第1回町議会臨時会において委員8名をもって設置された。

設置以来、町電気船舶課、種子屋久農業協同組合、安房電気利用組合、九州電力(株)及び屋久島電工(株)との意見交換会を含み、計8回の会議を通して屋久島における電気事業の現況等について調査を行った。

その結果、電気供給を安定したものとするため、また、全地域における料金統一の具体的な方策については、次の理由により更に時間をかけて検討の必要があるとの委員会の合意に至った。

電力供給の実態をみると、九州電力株式会社は大半を、種子屋久農業協同組合・屋久島町・安房電気利用組合の3

事業所は、全てを屋久島電工株式会社に依存しているため、配電に当たっては供給元である屋久島電工株式会社の配電能力に頼らざるを得ない状況下にある。

しかしながら、今回行なった各事業所との意見交換会において、現状を維持するために各事業所、力を傾注しているものの、それぞれの組合員との協議が未調整であること等から、近々に現況見直しに取り組む動きが見出せないこと。

また、それぞれの事業所が配電区域を設定し、独自の料金、サービスマニュアルで経営を行っていることや、各事業所の利用者戸数及び配電区域の面積に差があること等から、これを短期間で一元化することとは困難であること。

最後に、「電気供給を安定したものにするため及び全地域の料金を統一するためには、島内の関連事業所が一体となり、早い時期の合併に向けて前向きに検討していただきたい」ということを確認したことを申し添え報告とします。

議会全員協議会協議内容

◎8月19日開催

○町長部局

1, 損害賠償金債権の取り扱いについて

旧上屋久町職員に対する損害賠償請求債権について、当該職員の父親からの遺産相続を前提に損害賠償請求の手続きを行う準備を進めていたが、父親の当該職員へは遺産相続しない旨の遺言書の存在が明らかになったことから、損害賠償請求すべき相手方が存在しないこととなり、町の事務処理としては不能欠損処理をせざるを得ない旨の説明が総務課よりなされ、了解止むなしの判断に至った。

○議会関係

1, 屋久島町議会委員会条例の一部改正について

議員定数が20名から16名に削減されることに伴い、現在3つ設置されている常任委員会について、10月1日より総務文教常任委員会(定数8名)、産業厚生常任委員会(定数8名)の2委員会に改正することを決定した。

2, 屋久島町庁舎建設等検討委員会委員の選任について

町当局より、標記委員会を設置し庁舎建設に係る協議を開始することに伴い、議会選出委員2名の選任依頼があり、協議の結果、任期満了まで間がないことから、現在の任期中は議長及び副議長を選任することで決定。

3, その他として、

- ・10月5日に尾之間議場を使って「屋久島町子ども議会」が開催されること等について、事務局より説明があり了承した。

◎10月1日開催

○議会関係

1, 各審議会・協議会等委員の選任について

本日、一般選挙後の初議会が開会され、議長、副議長及び各常任委員会委員が決定したことから、町長部局内で設置されている各種審議会・協議会等の議会選出委員について充て職・指名職を確認し、改めて選任した。

2, 屋久島町入島税等検討委員会委員の選任について

町長部局で検討されてきた新たな財源確保のための調査結果に基づき標記委員会を設置することに伴い、議会より2名の委員選任の依頼があり、1と併せて協議した結果、指名職として真辺万里議員と石田尾茂樹議員を選任することに決定した。

3, 第3回種子島屋久島議会議員大会の提出議題について

本年10月31日に本町で開催予定の第3回大会の提出議題について、昨年決定しながら大会が開催できなかったことにより先延ばしされていた提出議題「屋久島空港ターミナルビルの整備促進について」を今回も議題とすることで良いか、事務局より提案があり、了承した。また、南種子町議会より共同提出にできないか提案があった「離島における消費税の減免について」は税という全国的な問題を離島のみ適用するのは難しいのではないかと。事案が議員大会では大きすぎるのではないかと。等の意見があり、不採択とすることで決定した。これに関し、議員より、離島振興法に新たに盛り込まれた「離島流通効率化事業」の拡充について検討できないかとの提案があった。

4, その他として、

- ・屋久島町子ども議会の内容決定について
- ・10月13日に開催予定の町民体育祭への出席要請等について、事務局より説明があり了承した。

一般質問

町政の課題

10人が町の考えを問う

8月29・30日、9月2日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

全国から生徒を募る支援策を講じるべきでは。屋久島高校の教育環境の充実と地域振興策の一翼として

町長／県教委や屋久島高校と意見交換をし、旅費や下宿費の補助等を検討する



寺田 猛 議員

問 屋久島高校は、来年度より県外を含む学区外からの受験が可能になるが、これを契機に荒木町政の地域活性化策の一翼として、全国から世界自然遺産屋久島で学ぶ高校生を募るプロジェクトを立ち上げ、屋久島高校の充実と地域振興策を図るべきでは。

答 今後、全国各地から高校生が受験し、屋久島高校で学ぶことは保護者の参観や卒業後の来島など交流人口の拡大や、将来的には学生寮や下宿施設の整備等で、町の活性化も大いに期待される。魅力ある高校として全国に情報発信できるように環境コー

スの学科昇格など関係機関と積極的に協議をし、必要な支援策を講じたい。

強く要請すべき。狭隘かつ老朽化した屋久島空港ビルの全面改築

町長／空港ビルは、利用者が増加に対応できていない。ビル会社や県に改修を粘り強く働き掛ける

問 空港ビルは狭隘かつ老朽化しており、数年前から改修の要望が寄せられているが、一向に進展の兆しが見えない。屋久島の玄関口として近代的なビルの建設を強く関係機関に要請すべきでは。

答 当ビルは開設から37年を経過し、15万人を超える利用者の対応に適しておらず、幾度となくビル会社や関係機関

に改善の要望を行ったが、抜本的な改善はされていない。今後も粘り強く実現に向け働きかける。



迅速な改善が望まれる空港ターミナルビル

就航年度は、フェリー太陽の新船計画のタイムスケジュール

町長／平成28年に船舶建造委員会等を設置し、平成31年度就航を目指す

問 町営船フェリー太陽は、就航から16年が経過し新船建造を具体的に立案すべきでは。

答 当船は耐久年数を過ぎているため、新船計画は関係機関との協議や建造期間を含め5・6年を要するため、平成31年度就航を目指す。

高齢者の生きがいの居場所づくりのために空き家屋等の利用は

町長／家主の理解を得るのがむずかしいが、そのような場所があれば前向きに検討したい



真辺 有次 議員

問 高齢者の日常生活支援として、集落内の空き家屋等を利用して、気軽に集まり、くつろぎ、遊べる場（生きがいの居場所）づくりは考えられないか。

答 空き家屋の利用は家主の理解を得るのがむずかしい。公民館等を利用し、高齢者を含めたすべての世代が参加する活動を模索している。

問 公民館まで距離が遠いところの方々に、何とかそういう手をさしのべることは考えられないか。

答 集落内でそういう場所の提供等、ご提案があれば前向きに考えてまいりたい。

高齢者日常生活圏ニーズ調査の結果を受け、現在の取り組み状況と今後は

町長／安否確認等の活動を行っている。今後は自立した在宅生活を営むための予防事業を進める

問 先般、志戸子・原地区において実施した高齢者の日常

生活圏域ニーズ調査の結果を受け、現在どのような取り組みがなされているか。また、今後はどのような取り組みを行うつもりか。

答 要援護者を把握し高齢者を地域で支え合い、自立と生きがいづくりのための取り組みを進めている。今後は、自立した在宅生活を送るための介護予防事業に取り組む。



介護予防教室で楽しいひとときを過ごす(湯泊)

ご神山祭りとは屋久島夏祭りでの補助金に差があるのはなぜか

町長／期間や趣旨、内容が異なるためであるが精査する



三神 隼人 議員

問 両祭りとも踊り連、神輿、川でのイベント、舞台演技、抽選会、花火大会と同じことをやるだけなのに予算をみると町の補助金だけが212万円と88万円と違うのはなぜか。



夏まつり(安房)

答 同じ祭りとは云え、屋久島夏祭りは1日間、ご神山祭りは2日間で、その趣旨も内容も異なり単純な比較は難しいが、厳しい財政状況から補助金や負担金についても精査すべきと考えている。

ゴミ袋の納入業者を屋久島町商工会にできないか

町長／屋久島町商工会1社のみ指定することは困難

問 地方の商店街は壊滅状態、商工会が会員への十分な指導助言等を行う為には、商工会が体力をつけなければならず、それには財源が必要である。この財源捻出のためゴミ袋の納入業者として商工会を指定できないか。

答 ゴミ袋の購入については指名願が提出された業者全てを指名し見積りを徴している。25年度の結果一番安かった業者と商工会では200万ぐらいの開きがあった。屋久島町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例で



駐車場の増設は困難か(荒川登山入口)

荒川登山口に駐車場の整備する考えはないか
町長／自然への負荷を考えると増設は考えられない

問 町の育成団体を納入業者にした方が補助金を出さずにするのでは。
答 指名委員会に指示をし、できるように検討させる。

定められた処理手数料であり、町民、受益者が負担すべきもの。処理にかかる手数料は直接町に納入されるべきではないので、第三者への委託は基本的にはできない。補助金を見直して意に沿うような補助金を出す。

蚊が多くて使いたくないとの声がある宮之浦陸上競技場の汲み取り方式のトイレの管理をどうする

町長／管理作業員にお願いすることになっている



渡辺 博之 議員

このトイレは、もともと本部席を改修する時に新しくつくる計画があったものだから今後どうするつもりか。

あたらしくつくります。

北部林道計画は生命財産自然への影響避けられない。町長の考えは

町長／白川集落の不安を取り除くのは私の任務

北部林道計画について地元から強い反対の声があっている。土石流やがけ崩れ等の危険や天然記念物カワゴロ



モヤ海水浴場やダイビングスポットのサンゴ礁などへの影響を考えたら当然の声だ。地元の見直しを行うとしているが、最低でもこれ以上一湊川に負荷がかからない線形にすべきと思うがどうか。

白川（しらこ）集落への丁寧な説明がなされていなかった。ここは過去において災害が発生したところであり、当然その不安を取り除くことは私の任務と思っている。

地元説明会では県が前面で応答していたが、そもそもこの事業の責任者は誰か。

町が事業主体という考えで間違いない。

「島いとこ」に任命しているブラック企業「ワタミ」の創始者「いとこ」外しを

町長／次の上京の折、対応する

今年の参議院選挙に自民党公認で立候補当選した渡辺美樹氏は、今年ブラック企業大賞を受賞した居酒屋チェーン店「ワタミ」の創始者だ。その渡辺氏は昨年9月、屋久島町の親善大使「島いとこ」に任命されている。低賃金、長時間労働、パワハラなど違法すれすれの雇用で自殺者を出すなど、若者の人生を奪い使い捨てにしているブラック

企業の責任者が「いとこ」とは、屋久島の恥だという若者の声があるが当然だ。すぐに「いとこ」外しをすべきではないか。

「島いとこ」の一人からの勧めで、認定したが、渡辺氏が国会議員になった時点で、「いとこ」を遠慮してもらいたいと考えていた。次の上京の折、その旨伝え対応したい。

特別支援教育について地元の高校に「分校、分教室」の開設は

町長／県立高校のため、直接的には、対応は出来ない



岩川 修司 議員

離島における特別支援教育の充実を図るため、県内第一号となる中種子養護学校の分校、分教室の開設について見解は。

屋久島高校も同じ県立学校ですので直接的には、対応できないが、障害を持つ中学生が島外になることは、精神的、経済的にも、負担があることから分教室の要望は、県教委や中種子養護学校にも伝えてある。

障害のある子供達の進学先ですが、義務制と違って専門的な教育が必要であるため本年度から支援学校、支援高



災害防止対策について町内の避難場所・避難道路は万全か

町長／各集落に自主防災計画を依頼。現段階では、把握ができてない

町のマップは普通災害の防災マップだが、南海トラフの問題、大津波の時の各集落ごとの避難経路、避難場所の

校が開設したが鹿児島市に開設されたが、支援学級は、県教委としても難しい。



避難場所の一つに指定されている管理センター（尾之間）

問 把握はできているか。
答 各集落に自主防災計画の策定を依頼している。現段階では把握していないが地域の現状を勘案し、一定の基準を満たす施設、場所を指定緊急避難場所として指定する地域防災計画や防災マップ等に位置づけ周知し、支援を要する者については避難行動要支援者名簿を作成する。

問 一湊集落は、海拔ゼロに等しくて逃げ場もないが番屋岬に避難箇所を設定する考えは。
答 特異性のある地域なので、避難地域としての一時避難場所として可能と考え集落と協議する。

問 小瀬田・安房校区における茶業を中心とした基盤整備及び灌漑施設の事業展開の方向性及び可能性はどのように考えているか。
答 小瀬田校区においては、中山間地域総合整備事業において、農業用排水施設、猿・鹿の侵入防止柵の整備中である。安房校区においては、これまでの事業要望の精査を行い農家の要望に沿う形でやっていきたい。ただ、県の事業予算の関係もあることから、事業の調整精査がかなり必要であると考えている。



日高 豊 議員

東部地区の農業振興策
 町長／小瀬田校区では中山間事業で、安房校区では新しい事業の検討中



小瀬田地区の茶田

問 庁舎建設の基本的な考え方はどのように考えているか。
答 屋久島のイメージである屋久杉・杉というものを前面に出すためには、木造の庁舎としたい。その庁舎にあつては、百年二百年持つような庁舎としたい。そのため、屋久島の気候風土に合った設計、メンテナンスに及ぶ地元業者を主体とした施行、貴重な材を活用した木の文化や伝統を

庁舎の建設の基本は
 町長／地杉を内外にアピールする機会

議会動向〈平成25年8月～11月〉

- 8月19日 第5回全員協議会
屋久島における電気供給状況についての調査特別委員会
- 23日 第3回議会運営委員会
- 26日 青森県議会行政視察
- 28日 第3回屋久島町議会定例会開会（～9/6日まで）
第4回全員協議会
- 9月 2日 第4回議会運営委員会
- 14日 県民体育大会（9/15日まで）
- 16日 各集落敬老祝賀会
- 17日 屋久島町議会議員選挙告示
- 22日 屋久島町議会議員選挙投・開票日
- 26日 縄文杉展望デッキに関する報告会（宮之浦総合センター）
- 27日 議員懇談会（尾之間支所）
- 10月 1日 第3回屋久島町議会臨時会（初議会）
第6回議会全員協議会
- 5日 屋久島町子ども議会（尾之間議場）
- 7日 熊毛地区消防組合議会定例会
・・・荒天のため欠席
- 8日 広報委員会
- 10日 熊毛地区老人スポーツ大会（尾之間ふれあいセンター）
- 13日 第6回町民体育祭（健康の森公園陸上競技場）
- 17日 決算審査特別委員会

- 23日 決算審査特別委員会現地調査（屋久島分）
- 25日 屋久島町エコツーリズム推進協議会総会（役場本庁舎）
- 29日 青森県議会行政調査
- 31日 第3回種子島屋久島議会議員大会（宮之浦総合センター）
・・・全議員出席
- 11月 2日 屋久島「夢灯り」イベント（安房地区）4日に延期
- 3日 安房地区10周年と安房電気利用組合設立60周年記念式典（安房総合センター）
・・・議長出席
- 6日 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会要請活動（防衛省）
・・・議長出席
- 7日 屋久島町戦没者追悼式（安房総合センター）
長崎市議会行政調査
- 9日 超自然屋久島ツアーマーチ（11/10日まで）
- 12日 熊毛振興市町村議会議長全国大会（東京都）
熊毛地区植樹祭（中種子町）
・・・副議長出席
- 13日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 14日 熊毛郡町議会議長会行政調査
- 16日 屋久島ぼんかん祭り（尾之間公民館）
- 17日 第6回屋久島町駅伝大会
- 23日 世界自然遺産登録20周年記念式典（宮之浦総合センター）
- 24日 屋久島町文化祭（安房総合センター）
- 26日 県町村議会議長会理事会（鹿児島市）
・・・議長出席
- 27日 鳥取県町村議会議長会行政調査

感じる庁舎として、屋久島らしい家づくりと技術の伝承の場として行きたい。結果として、屋久島産材の特異性を内外にアピールする機会としたい。

シルバー人材センター設置についての見解は
町長／高齢者の働く場づくりのため関係機関と協議を進めていきたい



山崎 利広 議員

業務は、児童生徒の見守りだが、それに軽作業をプラスした事業所にできないか考えている。

問 サポートセンターに対して国の補助はあるのか。

答 会員数100人以上であれば国の2分の1補助がある。

問 高齢者実態調査では、まだまだ働きたいという方が多いが、町でシルバー人材センターを設置する考えはないか。

答 平成22年度中のセンター設立に向け取り組んだが、設立時に1300万円、その後毎年700万円の町の補助が必要になることから、財政状況を考慮し断念した。

今後、高齢者や能力を發揮したい方を対象としたファミリーサポートセンターを大きくした事業ができないか、関係機関と協議を進めていきたい。

問 サポートセンター以外の考えはないか。

答 サポートセンターの主な

答 働く場をつくれるよう福祉事務所と協議し、その方向にもって行きたい。

町長就任以来、これまでを振り返り、どんな評価をしているか

町長／一定の方向性を見出したと考えている。今後も適宜・適切に課題に取り組んでいく

問 施政方針等で表明した施

策等について、どのような評価をしているか。

答 中学校統合による教育環境対策、入島税の新たな財源確保対策等の課題解決に取り組んできた。その結果、ある一定の方向性を見出したと考えている。今後も時期を失することなく適宜・適切に課題に取り組んでいく。(中略)

問 あまりにも観光産業に頼り過ぎている感がある。減退しつつある第1次産業を活性化するため、更に1次産業に力を入れ、そこに働く場を求めるべきではないか。

答 最も元気な観光産業を伸ばし、第1次産業とリンクさせて一緒に力をつける方法がいいと思う。

また、観光客の減少を極力抑えるため鋭意努力している。

意 今後も合併の理念を基本に置き、屋久島を更に元気にするため、全職員の英知を結集して取り組んで頂きたい。

子ども議会 開催される



子ども議会を終えて
(主催した屋久島青年会議所のメンバー及び町執行部と)

去る10月5日、尾之間議場で屋久島青年会議所企画の子ども議会が開かれました。

この日、一日議員として登壇したのは、金岳中学校を含む各小、中学校から選ばれた小学6年生から中学3年生までの代表23名で、うち男子議員14名、女子議員9名、子供議会の議長は中央中3年の寺田桜心議員。

登壇する子供議員は、誰もが臆することなく堂々と町長や課長のみなさんと論戦を繰り広げました。

入島税の意向調査はなぜ実施されないか

町長／10月以降検討会で実施したい



日高 順一 議員

問 屋久島の環境保全と地域振興の両立のための入島税（新たな財源）確保の検討報告があったが、意向調査がされていないため、すべて内部

の想定でしかない。この財源の成否を左右するのは、納入する人達の意向である。なぜこの大切な調査をせず内部検討を進めたのか。意向調査はなぜ実施されないのか。

答 入島税等の総論を図る意向調査ではなく、検討会で使途内容、金額、方法等を示しての調査が、判断対象が明確になり、ニーズの把握や修正

の検討、実施の判断になる。10月以降に始まる検討会で実施したい。

問 屋久島の大きな観光資源になっているところが危ない状況になっている。入島税でこれらの対応も可能となり、雇用の確保もできる。このことを早く進めるためにも、検討会の前に事前調査は考えられないか。

答 まだ開始まで1ヶ月あるので内部で検討したい。

問 検討会議委員の充て職は考えなおすつもりはないか。
答 充て職をやめる。

自然観光資源の利用及び保全に関する条例の提案は

町長／少し時間をいただきたい

問 世界遺産20周年の年、条例制定、全体構想の認定は対外的に島のイメージ戦略としても重要と思うが。

答 条例の再提案は、全体構想の取り扱いの方針が未決定であり、今少し時間をいただきたい。

質問のテーマも広範囲に及んでいます。

「貴重な島の自然を守る」

「お年寄りを大切にする」

「教育環境の改善」

「農林水産業や観光の振興」

「生活環境の整備」など。

中には「ゆるキャラ」「若者の雇用」など、子供らしさや逆に子供らしからぬ？テーマを掲げ質問した議員もいました。

東北大震災の被災者でもある議員は、震災や原発で故郷を追われた被災者への援助を訴えました。

どの子供議員の質問も事前に精査の上周到に準備された内容で、その感性には感嘆以外の言葉は見つかりません。

これら子供議員の質問に、町長や課長のみなさんからは、その根拠や理由をしっかりと示しながら懇切で分かりやすい回答がなされていたことも強く印象に残る議会となりました。

われわれ議員も大いに学ぶべきことが多かった子供議会。来年もぜひ企画してほしいと願っています。

子供議員のみなさんは、以下の方々です。（発言順）

高橋 諒（中央中）岡留虎太郎（岳南中3）泊慎太郎（安房小6）岩川恵志郎（八幡小6）岩垂風月（岳南中2）

森下竜次（一湊小6）假屋桃佳（宮浦小6）代口麻友香（安房中3）濱崎嶺馬（中央中1）宅野いこい（小瀬田小6）齊藤みのり（栗生小6）関口拓真（金岳中2）岩

川颯希（八幡小6）都築進之助（神山小6）岡本魁星（安房中3）山崎京（岳南中3）安田美由紀（安房小6）日

高成龍（宮浦小6）船間幸輝（中央中1）日高裕貴（永田小6）岩川隼輔（神山小6）星野美夢（安房中2）



混雑時の縄文杉展望デッキ

低い島内の出産率に対し、町としての取り組みは

町長／屋久島徳洲会病院での万全な産科医療体制の要望をしていく



渡辺 千護 議員

問 島内で産科が開始されたが、依然として出生児の約4分の1程度しか屋久島徳洲会病院では産まれていない。この島内出産率が低い原因は何だと思ふか。

答 医師と妊婦の信頼関係だと思ふ。

問 信頼関係が崩れていることは、この島の人々の命を守れないことになる。島全体の人々の命を守る意味でも病院任せではなく、自治体で取り組まなければならない問題だと思ふか。

答 いい器はできたが、内容が充実していない。ここに産科がある以上、60%、70%の



母親教室での指導

出産ができるように徳洲会病院へは要請していく。

妊産婦の安心安全のため、常勤の助産師雇用はどうか

町長／必要であるという多くのニーズがあれば対応できるよう検討する

問 妊産婦は産前・産後いろいろの問題をかかえている。現在の町の助産師は、月2回

の非常勤、これでは十分な対応ができない。妊産婦が安心して出産できる体制づくりのため、常勤の専門職の助産師が必要であるが、この雇用はどうなっているのか。

答 現時点では助産師の常時雇用は考えていないが、どうしてもいないと困るし、町民が必要であるという多くのニーズがあれば対応できるように検討する。

健康の森公園の管理状況は

町長／担当課が連携を取り維持管理している

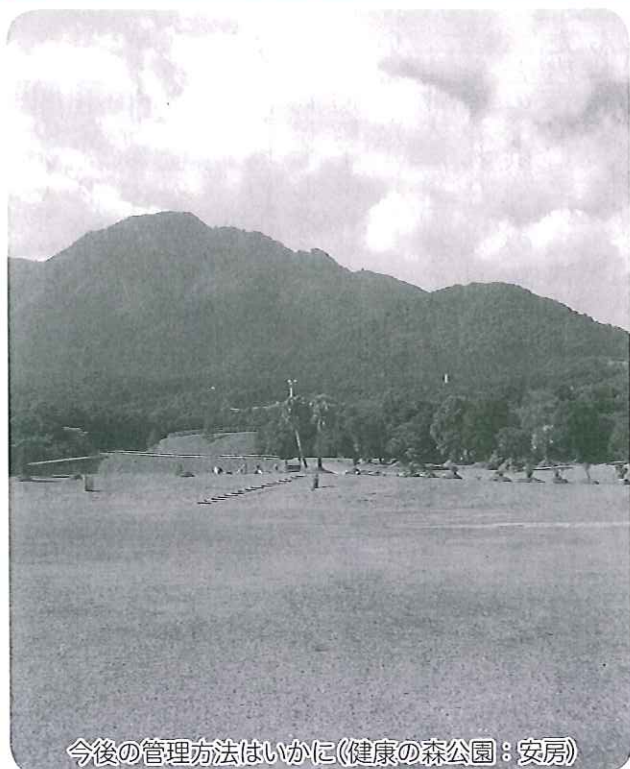


緒方 健太 議員

問 公園は、スポーツ施設が主体ではなく、自然を利用した健康づくりのための総合公園であり、一年中利用できることを目的としているが、町民が安心して利用できる施設

にするためにも、専従の職員配置が必要ではないか。
答 広大な敷地ですので、3名で陸上競技場を中心に除草作業等をやっているところですが、なかなかいき届かない箇所もあり、今後どのような形にもっていくかを検討する。

問 利用促進委員会等を立ち上げボランティア活動を生かした計画的な管理につなげて



今後の管理方法はいかに(健康の森公園：安房)

シリーズ学校紹介①

金岳小・中学校

問 現在利用されている方を中心にそういうことも含めて議論したい。

答 施設については、今後幼児・児童等が安全に使えるよう遊具を設置する考えはないか。

答 子供たちが公園の中で、楽しく遊ぶための遊具も必要であると認識している。耐久性や安全性を十分考慮した遊具の設置について、今後、検討する。

SNSを活用した情報の発信の導入

町長 迅速かつ適切な運用を検討する。

問 フェイスブック等を利用した観光客の方々へリアルな情報の提供、交通のアクセス状況、気象・イベント等の情報など、おもてなしの心の一番大切なところだと思いが。

答 こう言う時代ですから、前向きにやってみなければいけないと言うことは申し上げ、そういう情報をきちんと正確に発信できるように、仕組みにしたい。

金岳小・中学校は、屋久島から北西に約12km離れた口永良部島にある学校で、小学校は創立135年、中学校は創立66年目を迎えました。

同じ敷地内に小学校と中学校の校舎が鍵上に建ち並ぶ併置校で、現在、小学生11名と中学生9名がのびのびと学校生活を送っています。「南海ひょうたん島留学」による県内外からの留学生も島の生活を楽しんでいるようです。

教育目標には、豊かな自然の中で、自分を磨き、お互いに切磋琢磨しながら夢や希望に向かって努力して欲しいという思いを込めました。

小学校：「豊かな感性で学び、学び合い、ともに伸びようとする子どもを育てる」
中学校：「豊かな感性で学び、学び合い、自己実現を目指す生徒を育てる」

金岳小・中学校の特色の一つに「小・中連携」が挙げられます。

- えらぶつこタイム：毎週月曜日の朝20分間、小学生と中学生が遊びや学習発表等を通して触れ合います。
- ふれあい給食：毎月1回、小学生と中学生が給食をとります。

- 学校行事：運動会でのエイサーや学習発表会でのポディパーカッション、群読など合同で演技したり発表したりします。
- その他：海で行う水泳学習、サッカーやソフトボール、そしてもちろん昼休みの遊びなど。

それから地域に密着した教育活動も特色の一つです。地域には、昔の学校の様子を詳しい方や、絵画を得意と



する方、水源地管理の方など学習内容をより具体的に直接的に支えてくださる方がいます。また、焼酎の原料となるイモ栽培に取り組む「口永良部島活性化事業組合」や天然記念物のエラブオオコウモリの生態調査やウミガメの保護活動をすすめる「えらぶ年寄り組」などの組織もあり、職場体験活動や総合的な学習の時間でお世話になっています。

平成24・25年度教育研究指定を受けているESD (Education for Sustainable Development) は、「現在及び将来にわたっての課題について理解し、解決すべきこととして考え続け、今の自分にできることを行動に移していく子ども」の育成を目指して研究推進を図っていますが、「自然とのかかわり」と「人と人とのつながり」が重要な視点となっています。

この研究を通して、口永良部島の自然や約150人の島民の皆さんとかがわり、つながることで島の宝である子どもたちが、将来へのあこがれをもって成長していけるように感じています。

クイズ

問一、10月5日開催された子ども議会
会で議員に選ばれた小・中学生は
何人か。

()人

二、現町営船フェリー太陽は就航
してから何年経過しているか。

()年

三、森林軌道の橋梁修繕費として町
が計上した予算はいくらか。

()万円

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を
進呈いたします。

屋久島町議会事務局

クイズ係

電話 43-5900

応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、
ハガキで左記へご応募ください。

締切日

平成26年2月7日(金)消印

有効。

応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

▼23号の正解は、次のとおりです。

問1 3200(万円)

問2 6(万円)

問3 7200(個)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

○風間 国彦様(尾之間)

○村本 勉様(小瀬田)

○日高 ささ子様(尾之間)

議会を見にきませんか

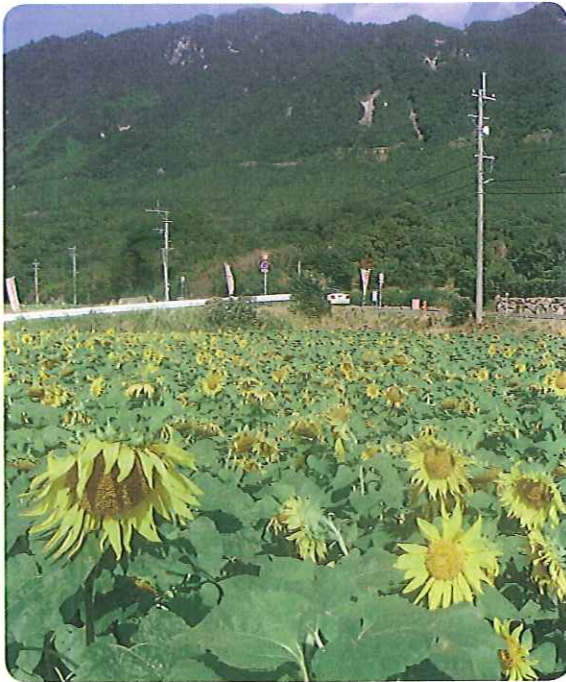
・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。
6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

投稿写真

山崎昌代様(栗生)



多くの観光客が足を止める向日葵畑(小島)
〈緑肥・景観用作物〉

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。
このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。
一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。
採用された方には、粗品を進呈いたします。
不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

初心忘るべからず

「初心忘るべからず」の元来の意味は、習い始めの頃の芸や経験を忘れるなという能率の戒めである。転じて何事も最初的心持ちや謙虚さを忘れるなという意味で使うようになったといわれる。

人には慣れというものがある。慣れによって救われる場合もあるが、むしろ慣れで駄目になることの方が多い、ともいわれる。さて、先般の任期満了に伴う改選で16名の新議員が誕生し、10月1日から一歩を踏み出した。当たり前のことだが、これから4年間、町民の幸せと町政発展のため、ひとり一人が日々の活動に努めなければならない。そして何よりも初心を忘れずに。

(真辺)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

委員 真辺有次